



第 108 号 2018 年 2 月 7 日 発行 島田療育センター支援部ピコピコルーム

<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/intro/pikopiko.html>

ATAC カンファレンス参加報告

昨年の 12/1 (金) ~12/3 (日)、ATAC カンファレンス 2017 に参加して参りました。会場の国立京都国際会館では、窓から美しい庭園や紅葉した山々が望める素晴らしい環境の中で過ごすことができました。多種多様なセミナーや発表・展示があった中から、特に興味深かったものについて紹介させていただきます。



会場から見える景色

<Vision Coupler : 静電容量型タッチパネルを自動操作する小型デバイス>

こちらの演題は株式会社ニコンの研究開発本部の方によるものでした。12 月の時点では市販の予定のない開発中の商品の紹介でした。どんな商品かという、タブレットやスマートフォンなどタッチパネルで操作する端末を、画面をタッチする以外の方法で操作するための装置です。具体的には、スマートフォンの画面には触れずに別のスイッチを押すことによって操作できるというものです。この商品の開発の背景として、スマートフォンだけでなく家電類でも使われているタッチパネルは増える一方ですが、視覚や手に障害があり使用が困難な人もクローズアップされてきたといえます。これは当センターでもいえることで、運動機能や手の変形などによって使えるスイッチが限られている利用者様もいらっしゃいます。そういった方でも iPad などを操作することが可能になるかもしれません。Vision Coupler ではタッチする場所を指定する必要があるので操作できる場所が限られてしまいますが、各アプリに合った場所に設定できれば自分で操作している感覚は十分感じられるのではないのでしょうか。近年増えてきているタッチパネルで操作する電化製品を使わずに困っている方の救世主になってくれそうな商品です。

<コミュニケーション能力に特化した障害度分類の活用>

ご存知の方もいらっしゃると思いますが「富田分類」の説明と紹介です。これまで重症心身障害児・者には「大島の分類」や「横地分類」が使われてきました。歩けるか・座れるかなどの運動機能面と IQ や言語理解などの知的機能面を大まかに把握するためのものです。この二つの分類は運動面の判断はしやすいものの、知的面の評価が難しく時間を要するため現場で使うには大変さもあります。また、知的なレベルがわかっても具体的なコミュニケーション能力は把握できないという問題点もあります。そこで「富田分類」では移動能力とコミュニケーション能力を各 4 段階で示しています。移動能力は「寝た

コミュニケーション能力	言語期	13	14	15	16
	命題伝達段階	9	10	11	12
	意図的伝達段階	5	6	7	8
	聞き手効果段階	1	2	3	4
		寝たきり	床移動可能	車椅子移動	歩行
		移動能力			

富田分類

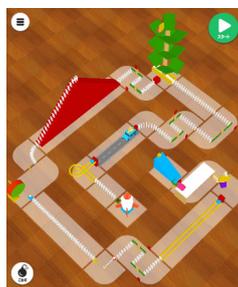
きり」、「床移動可能」、「車いす移動」、「歩行」に分かれています。コミュニケーション能力は「利き手効果段階」、「意図的伝達段階」、「命題伝達段階」、「言語期」となっています。移動能力はわかりやすいと思うのでコミュニケーション能力について説明します。「利き手効果段階」は意図が支援者により解釈されます。例えば「質問をしたら笑顔がみられたから YES と理解する」となります。「意図的伝達段階」は意図を何らかの手段で伝達しようとする段階となります。「命題伝達段階」は意図を明確に伝えようとする段階で、「言語期」は会話によるコミュニケーションが可能な段階となります。富田分類では評価フローチャートやコミュニケーション段階別支援方法も示されています。当センターだと、状態の把握やリハビリでの引き継ぎの際に「富田分類」は有用かと思われれます。PT や OT はコミュニケーション面の大まかな情報があればリハビリ中に活用できるし、ST は移動能力が分かれば全身状態の把握がしやすくなるような気がします。病棟の職員の方においても、リハビリの評価が簡単に伝わりやすくなるかと思えます。(PT 中村)

最近の iPad アプリ紹介

最近ピコピコルームの iPad に追加されたアプリを 2 つ紹介します。
どちらも無料ですので、ご興味をお持ちの方は試してみてくださいね。

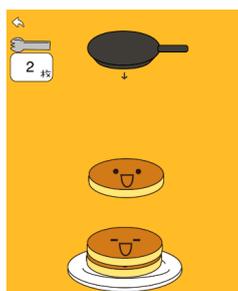
<ピタゴラン>

テレビ番組「ピタゴラスイッチ」のような装置（仕掛け）を自分で作れる楽しいアプリ。画面をなぞってコースを作り、直線や角のパーツを何種類もある装置から選んでいきます。最後は再生ボタンを押してスタート！カメラアングルも 360 度動かせる本格派です。



<パンケーキタワー>

その名の通り、パンケーキをタワーのようにどんどん積み重ねていくゲーム。画面の上部にあるフライパンからパンケーキを持ち上げて、お皿の上に崩さないように重ねていきます。積み上げるに連れてグラグラと揺れ始め、崩れたところでゲーム終了。さて、何枚重ねられるかな？



ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。